

平成30年度 山科区運営の総括表

基本方針・重点方針	平成30年度重点取組				
	取組名	目標	実績	備考	所属等
1 環境を守り継ぐ	1 山科区2万人まち美化作戦の実施	参加者数目標：2万人	参加人数：15,198人 回収ゴミ量：17.8t		地域力推進室
	2 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	国道1号（五条通）の歩道上に設置した1,000個のプランターの花を区民総出で春と秋に植え替える。	プランター設置数：1,000個		地域力推進室
	3 山科区フラワーロード推進事業の実施	花苗植数目標：6,000株	花苗植数：4,529株		地域力推進室
	4 「エコ学区」ステップアップ事業	「京エコライフプログラム(地域性を活かした学区独自のエコ活動を支援する公募型事業)」「省エネナビ(電気消費量計測機器)の貸出し」など地域の担い手セミナーへの全学区参加を支援する。	エコ学区支援物品(リユース食器、自転車発電装置等)を9団体に貸し出した。		地域力推進室
2 まちの魅力・観光を磨く	1 山科区公式アプリ「やましなプラス」の運用	ダウンロード数：12,000件	山科区公式アプリ「やましなプラス」を通じて、区役所、公共施設等の情報を発信した。 利用者数：9,701件 (平成31年3月31日時点) ニュース掲載記事数：567件(1.6件/日) (平成30年4月1日～平成31年3月31日)		地域力推進室
	2 山科検定の実施	受験申込者数：500名	山科の歴史、文化、産業等への理解を深め、区民の皆様が山科への愛着を一層醸成するとともに、区外の皆様に対して山科の魅力を広く発信するため、「第3回山科検定」を実施した。 開催日：平成30年11月25日(日) 受験者数：302名		地域力推進室
	3 ふれあい“やましな”区民ふれあい文化祭の実施	文化祭の実施による区民の相互交流を促進する。	区民ギャラリー 入場者延べ数：約600人 出展作品：210点 区民芸能フェア 入場者延べ数：約3,500人 出演者：740人		地域力推進室
	4 ファムトリップ(旅行商品企画担当向け視察旅行)の実施	近畿、中部、中国地方からのバスツアー誘致を目指す。	山科行きの旅行商品を作成していただくため、旅行会社の商品企画担当者をお招きし、実際に現場を視察後、意見交換を行った。 開催日：平成30年4月18日(水) 参加社数：1社 旅行会社を訪問のうえ商品作成を依頼した。 訪問日：平成31年2月1日(金) 訪問社数：3社		地域力推進室
	5 やましな観光振興・賑わい創出	山科の観光資源・地域資源をPRするため、効果的な広報を実施する。	紅葉の美しい時期に山科への誘客を図るため、山科の秋に特化した観光案内チラシを作成のうえ、配布・配架した。 チラシ印刷部数：8,000部		地域力推進室
	6 区民史跡の探訪(山科の魅力探訪)への支援	各団体独自に工夫を凝らした史跡巡りの探訪により、山科の魅力をさらに広める。	区民史跡の探訪等事業登録団体：5団体		地域力推進室
	7 「大好き!やましな魅力発信プラットフォーム」の運営	京都橋大学と区役所との共同運営により、新規参加者及び情報発信件数の拡大を図る。	区民が自由に情報を発信し、交換しあう場として、メッセージリストを使用してプラットフォームを運営した。 参加者数：110名 発信件数：824件		地域力推進室
	8 笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	【再掲】	プランター設置数：1,000個		地域力推進室
3 交通・都市基盤を強化する	1 山科区の交通問題の改善に向けた取組	・バス待ち環境の改善。 ・麓山循環系統バス及び山科循環バス(くるり山科)の利便性向上。 ・モビリティ・マネジメントの拡大による地域の公共交通の利便性向上。	バス停「山科駅」、「山科総合庁舎(東行)」、「西野山階町(西行)」に上屋、「今晨敷公園(西行)」にベンチを設置した。		地域力推進室 都市計画局 交通局
	2 小金塚地域の安心・安全なまちづくりの推進	今年度に完了予定の配水管及び舗装復旧工事後、早期のバス導入に向けて、小金塚自治連合会及び関係機関と連携しながら取組を進める。	小金塚地域循環バスが平成31年3月21日より、実証運行開始した。		地域力推進室
	3 不良な生活環境を解消するための取組	関係機関や地域と連携して実態調査を進めるとともに、要支援者が抱える課題や悩みを聴取し、要支援者に寄り添った支援を行う。	実態調査を行い、要支援者に対して、継続的な支援を実施した。 ごみ屋敷と判定：28件 ごみ屋敷ではないと判定：16件 継続調査：1件 解消：24件 ※平成26年11月条例施行後累計		地域力推進室 健康長寿推進課 障害保健福祉課 生活福祉課 子どもはぐくみ室

1	やましなお誕生おめでとう事業の実施	民生児童委員等を通じて子育て家庭と地域の子育て支援機関又は子育て家庭同士がつながりを持つよう、事業周知の工夫や民生児童委員等との連携に努める。	全13学区で実施した。 訪問実績：305件(全出生の33.6%) 民生児童委員等と事業の取組状況や課題の共有、連携促進を図るため、研修会を実施した。 参加人数：42名		子どもはぐくみ室
2	やましな子育て情報発信事業の実施	情報誌の内容を充実させたうえ、様々な機会をとらえ、孤立しがちな未就園児を持つ家庭を中心に配布する。	やましなっこおめでとうガイドの内容の見直し、情報の更新を行い、リニューアルした。 やましなお誕生おめでとう事業における訪問、1歳6か月児健診の際に配布した。		子どもはぐくみ室
3	「京都市山科区要保護児童対策地域協議会」の適切な運営	「代表者会議」、「実務者会議」、「個別ケース検討会議」の実施により顔の見える関係づくりを大切に、児童虐待防止に努める。	代表者会議：1回 実務者会議：4回 個別ケース検討会議：59回		子どもはぐくみ室
4	やましな子育て支援連絡会の充実	「代表者会議」を年1回以上開催し、幹事会を中心に研修や事例検討会等を実施する。	代表者会議：1回 幹事会：3回 研修会：1回(参加人数:54人) 「気になる子どもへの気付き～サポートにつなげること～」		子どもはぐくみ室
5	子育て支援基幹ステーションの活動の支援	基幹ステーション会議を年1回以上開催し、地域の子育て支援状況を把握し、基幹ステーションの活動を支援する。	基幹ステーション会議：1回		子どもはぐくみ室
6	妊娠前から切れ目のない子育て支援の推進	乳幼児の健やかな育成等を図るため、乳幼児健康診査の受診率向上の取組や訪問相談及び各種子育て支援事業を連携して実施する。	妊婦相談：976件 4か月児健診：36回実施 858人受診 受診率97.7% 8か月児健診：36回実施 927人受診 受診率96.9% 1歳6か月児健診：36回実施 915人受診 受診率97.8% 3歳児健診：36回実施 929人受診 受診率97.6% プレババ、ママ教室：18回開催 190人参加 親子の健康づくり講座：19回開催 144組参加 親子すこやか発達教室：10回開催 19組参加 思春期健康教育・防犯セミナー：9回開催 938人参加 訪問指導等：1,374件		子どもはぐくみ室
7	子育てに関する総合的な相談支援窓口「子育て支援コンシェルジュ」の推進	子どもはぐくみ室全ての職員が「子育て支援コンシェルジュ」として総合的な窓口業務を推進する。	現況届の受付期間等で、来所者が集中する時や業務がふくそうする時は、至全体で情報共有するとともに、受付窓口を増やし、待ち時間の短縮を図った。		子どもはぐくみ室
8	乳幼児の教育・保育に関する相談支援窓口と利用者調整の実施	地域で幼児教育・保育を必要とする方を適切に幼稚園・保育所等の利用につなげる。	地域での受入状況を適宜把握し、利用申込者の相談を丁寧に関わり取り、幼稚園の情報を含め、情報提供を行うとともに利用者調整を行った。		子どもはぐくみ室
9	「子どもはぐくみ情報コーナー」の設置	子育て家庭に子どもや子育てに係る情報をより幅広く発信・提供する。	チラシ等の地域の子育て支援情報を1か所にまとめ、見やすくなるよう工夫した。		子どもはぐくみ室
10	山科区子育て応援フェアの開催	地域の子育て支援団体の連携の輪を広げ、地域の子育て文化の更なる醸成を図る。参加者数目標：1,000人	地域の子育て支援団体が連携し、山科区の「はぐくみ文化」の更なる醸成を図り、「山科区保育園まつり&山科区子育て応援フェア」を開催した。 開催日：平成30年10月13日(土) 開催場所：東部文化会館 参加人数：1,200人		子どもはぐくみ室
11	子ども向け文化・芸術体験事業の実施	区内の小・中学生の伝統文化・芸術に対する理解と興味・関心を高める。	区内の小学校6年生を対象に授業の一環として、学年単位で日本古来の伝統芸能である能・狂言を本物の能楽堂で体験する「山科区伝統文化(能・狂言)体験」を開催した。 開催日：平成30年1月2日(金) 開催場所：京都府立会館(左京区岡崎円勝寺町44) 参加人数：小学6年生、引率教員等781人 区内の小・中学生を対象に京都市立芸術大学音楽学部・音楽研究科の学生の協力を得て、身近にクラシックの楽器に触れることのできる「こども音楽体験ワークショップ」を開催した。 開催日：平成30年12月1日(土) 開催場所：東部文化会館 参加人数：区内の小学3～6年生及び中学生36人	地域力推進室 子どもはぐくみ室	
12	山科区健康寿命延伸プロジェクト	区内の新聞販売所や地域包括支援センター等の関係機関と連携し、一人暮らしの高齢者等の突然の体調悪化や事故等の異変を速やかに察知し対応する。	通報件数：15件 (内訳：救急搬送2件、入院・入所中5件、外出や外泊中3件、新聞の取り忘れ2件、転居2件、死後契約解除ができていなかった1件)		健康長寿推進課
	"心"の健康寿命延伸体験事業の実施	いつまでも健康に暮らしていただくことを目的に、地元清水権地協同組合や区内福祉施設等の協力により、外出する機会が少ない高齢者等に対し、地域と交流する機会を提供するとともに、認知症予防に効果的とされる陶芸教室等の生活習慣を提案することにより、「心」の健康寿命の延伸を図る。	じっちゃんとおぼく・わたしの夏休みプラン～清水権の絵付け体験及び地産野菜をつかったクッキング 清水権絵付け体験(平成30年7月25日開催) 参加者：40人 クッキング(平成30年8月9日、8月17日開催) 参加者：38人 こころ静かに写経・写仏体験～読む・書く・脳を動かし健康生活～(平成30年3月8日、3月18日開催) 参加者：両日合わせて21人		健康長寿推進課

4 保健・福祉・子育て支援を充実させる	13	山科区フリースペースの設置・運営	地域福祉推進委員会の活動を通じて、事業の安定した運営や内容の充実を図り、地域社会の絆づくりに努める。	9 学区 13 箇所で開催した。また、フリースペースの活用方法について、区内の高齢者等に対して情報提供するため、平成 29 年度に作成した冊子「ふりすべ知ってほる？」を増刷・配布した。	健康長寿推進課
	14	健康づくりサポーター「キャット・ハンズ」によるウォーキングの実施	山科区民を対象としたウォーキングを年 2 回実施する。	1 回目（平成 30 年 9 月 28 日 9 時～12 時 30 分開催） 野山門コース（ラクト山科公園～洛東高校～双林院～毘沙門堂～琵琶湖疎水～ラクト山科公園 約 6 キロ） 参加者：34 人（健康づくりサポーター 44 人参加） 2 回目（平成 30 年 11 月 30 日 9 時～12 時） 若愚神社コース（区役所～笠原寺～京都橋大学～歓喜光寺～区役所 約 5 キロ） 参加者：31 人（健康づくりサポーター 48 人参加）	健康長寿推進課
	15	地域における健康づくり事業の実施	山科健康づくりだよりを年 6 回発行し、情報発信をするほか、機会を捉えて各種（絵）診の案内及びロコモ予防や口腔機能低下予防の体操（山科わっはっは体操）の普及啓発に努める。また、地域団体などと連携した健康教室の開催による健康づくりを推進する。	やまなし健康フェスタ（平成 30 年 11 月 23 日 10 時～15 時開催） ふれあい「やまなし」区民まつりと同時に開催した。関係機関 13 団体、健康に関する啓発等を実施した。 山科健康づくりだよりの発行（6 回） 健康に関する知識の普及やがん検診受診啓発に活用 オーラルフレイル、フレイル予防 「山科わっはっは体操」の普及啓発を行った。 歯と口の健康教室を開催した。 開催数：43 回 参加人数：2245 人（延べ人数） ロコモ予防 健康づくりサポーターが主体となり、4 回健康体操を実施した。 骨粗しょう症予防 地域におけるイベント等で骨密度測定と保健指導を実施した。 生活習慣病予防教室（平成 30 年 12 月 19 日開催） 参加者：26 人 食育セミナー（6 回開催） 歯のひろば（平成 30 年 9 月 8 日開催） （主催：山科歯科医師会） 歯の健康についての啓発及び、がん検診受診、禁煙予防、栄養に関する啓発活動を行った。 アウトリーチ事業 区内の様々な場所に出向き、健康チェック、健康に関する講話等を実施した。 実施回数：51 回	健康長寿推進課
	16	介護保険事業の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明に努めるとともに、保険料の徴収率の向上と適正な介護認定・保険給付に努める。	市民しんぶん区版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務を実施した。	健康長寿推進課
	17	地域福祉推進委員会活動の充実	各会議等に積極的に参加する中で、山科区社会福祉協議会と協働し、地域福祉の向上を目指す。	本委員会（2 回） 作業部会（2 回） 事務局会議（適宜） 「山科区の地域福祉を考える集い」（1 回）	健康長寿推進課
	18	地域包括支援センター（高齢サポート）の活動の支援	地域包括支援センターが主催する日常生活圏域レベルの「地域ケア会議」に出席し、必要な助言等を行う。また、「山科区地域包括支援センター運営協議会」を年 3 回開催し、地域課題の解決に向けて、「認知症高齢者声かけ訓練」等の事業の実施を提案する。	地域ケア会議（日常生活圏域レベル）への出席（9 回） 地域包括支援センター運営協議会の開催（3 回） 認知症「声かけ訓練」実行委員会の開催（3 回実施） 各学区で実施する認知症「認知症高齢者声かけ訓練」に参加 （菅羽川学区 2 回、安来学区 1 回）	健康長寿推進課
	19	山科区公式アプリ「やまなしプラス」を活用した健康ウォーキングの促進	アプリを活用し、利用者の歩行数の増加と健康意識の向上を高めることで、区民の健康増進を図る。	健康ウォーキング登録者数：2,036 名 発行済みやまなしポイント：44,622,700 pt （46,227 円相当） （平成 31 年 3 月 31 日時点）	地域力推進室
	20	東部障害者地域自立支援協議会活動の充実	支援会議や運営会議等に積極的に参加する。	運営会議等に積極的に参加するとともに、各部会を中心とした研修会等の企画に積極的に取り組み、東部圏域での連携体制づくりを行った。 全体会議：1 回、運営会議：11 回、支援会議：0 回 児童部会：7 回、触診部会：20 回、G11 部会：4 回 災害部会：6 回、支援センター部会：3 回 地域懇談会：1 回、地域研修会：1 回 ※各部会には、研修会、学習会等を含む	障害保健福祉課
	21	こころのふれあいネットワーク事業の実施	夏まつり・シンポジウム等を開催する。	地域における精神障害者への理解を促進するためのイベントやシンポジウム等を実施するとともに、精神障害者に対する正しい知識の普及のため、紙芝居による啓発活動にも積極的に取り組んだ。また、平成 30 年度は、新たに発達障害者の紙芝居を作成するとともに、「山科区こころのマップ」の改訂版を作成した。 山科こころのふれあい夏まつり 参加者数：335 名 精神保健福祉協議会 参加者数：113 名 啓発のための紙芝居（4 回） 参加者数：148 名	障害保健福祉課
	22	福祉医療に係る事務の適正かつ円滑な実施	窓口等での丁寧な説明、適正な資格認定・給付事務に努める。	市民しんぶん山科区版への掲載やチラシ、ポスターによる制度の周知に努めるとともに適正な事務を実施した。	健康長寿推進課 障害保健福祉課 子どもはくぐり室
23	国民健康保険事業等の適正かつ円滑な実施	わかりやすく信頼される丁寧な窓口対応、保険料徴収率の向上、適正な資格賦課及び保険給付を実施する。	窓口又は電話の対応において、高齢の方には大きな声でゆっくり話すなど、健康保険制度の内容や手続きを丁寧に説明した。 社会保険等の加入者に対する資格の適正化や、保険料滞納者に対する滞納処分強化などにより、現年賦収率は 91.95%となり、前年比+0.51ポイントを達成した。 高額療養費等の給付を実施し、申請者に迅速かつ正確に保険給付を行った。	保険年金課	

5 地域のつながりを強める	1	世界一安心安全・おもてなしのまち京都市民ぐるみ推進運動	<p>防犯カメラを増設することや、笑顔と花いっぱいプロジェクトでは地域の方々でプランターの世話をしていたことにより、犯罪の起りにくいまちづくり、人口当たりの刑法犯認知件数を全行政区中最小にすることを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「安心・安全やまなし笑顔ときずなバレード」を実施（9月15日） 防犯講演会の実施（平成30年8月19日） 講師：小宮浩夫氏 62名の防犯カメラの設置に対して設置費用を9割助成 車上ねらい啓発プレート20枚作成、防犯警戒中プレートを希望の学区へ計280枚配布 青色ボトルろ活動を行った8団体17台に対し、1台あたり月額1,000円の活動費を助成 特殊詐欺啓発シールを配布 まちの危険箇所を点検するまち歩きの実施（駿ヶ岡） 	地域力推進室 文化市民局
	2	山科“きずな”支援事業	<p>支援の充実を図るため、補助金の交付のほか、まちづくり講座、活動報告会を実施する。</p>	<p>区民の主体的なまちづくりを支援するため、地域団体、NPO法人、大学等が主体的・自主的に企画、運営する事業に対し、以下のとおり支援を行った。</p> <p>申請事業数：43件 補助金交付決定事業数：39件 交付決定額：6,134千円 きずな支援事業活動報告会 開催日：平成31年4月20日 参加者数：38名</p>	地域力推進室
	3	「山科区民まちづくり会議」の運営	<p>「山科区民まちづくり会議」の運営等を通じ、区民、地域団体、事業者、大学等と連携・協働し、計画を更に推進する。</p>	<p>第2期山科区基本計画の推進のため、2回に分けて会議を開催し、第1回では、山科区のまちづくりに関する課題の抽出、第2回では具体的な施策、事業の検討を行った。</p> <p>第1回山科区民まちづくり会議 開催日：平成30年7月31日（火） 第2回山科区民まちづくり会議 開催日：平成30年8月27日（月）</p>	地域力推進室
	4	やまなし6060カフェの運営	<p>まちづくりに関心のある区民同士が出会い交流を深め、行動のきっかけとなるような場を目指す。</p>	<p>区民が出会い、行動のきっかけとなる場として計4回開催した。</p> <p>第1回（平成30年5月26日（土）開催） 参加者数：19名</p> <p>第2回（平成30年7月21日（土）開催） 参加者数：21名</p> <p>第3回開催日（平成30年10月27日（土）開催） 参加者数：18名</p> <p>第4回（平成30年1月26日（土）開催） 参加者数：17名</p>	地域力推進室
	5	「やまなし子ども・若者会議」の開催	<p>子どもを核にした多世代交流を促進する。</p>	<p>「やまなし子ども若者会議」の一環として、居場所づくりや学習支援など、子どもや若者たちを支援する取組を実施されている方々の情報交換や課題共有、ネットワーク形成を図ることを目的とした「山科子ども・若者未来トーク」を3回開催した。</p> <p>第1回（平成30年6月27日（水）開催） 第2回（平成30年11月5日（月）開催） 第3回（平成30年12月3日（月）開催）</p>	地域力推進室
	6	区防災訓練の実施	<p>区民が災害発生から安否確認、避難所開設、避難にいたるまでの一連の流れを実際に行動していただく実践的な訓練を実施する。</p>	<p>2月3日（日）に山科区内全域で「山科区民総合防災訓練」を開催した。</p> <p>これまでの訓練では事前に避難所のレイアウトや物資の準備をしながら実施していたが、今回は午前9時に区内に斉送信した緊急連絡メールを合図に全ての訓練を開始した。</p> <p>これまで避難所開設に携わったことのない地域住民が、役員と一緒に避難所到着後に準備を行ったり、住民同士で活発に意見交換を行うなど、参加者も自主的、積極的に訓練を実施した。</p>	地域力推進室
	7	地域の防災力アッププロジェクト	<p>この訓練を通じて避難所運営に係る課題を抽出するとともに改善を図ることで、今後の地域防災力の向上に結びつける。</p>	<p>訓練の運営に必要な物品を各学区へ配布。</p> <p>訓練終了後に振り返りを行い、課題抽出や今後の訓練のあり方について話し合いを実施した。</p>	地域力推進室
	8	IoTを用いた土砂災害に強いまちづくりプロジェクト	<p>安楽学区の住民や小学生の皆様が自宅で測った雨量などをコンピュータに蓄積し、将来的には人工知能を活用して土砂災害の危険予測を目指す。</p>	<p>安楽学区の住民や小学生が自ら製作した雨量計により、雨量計測を継続的に実施するとともに、土中の土壌雨量を計測するためのIoTセンサーを設置し、土壌雨量についても計測し、それぞれのデータの蓄積を進めるとともに、安楽小学校での授業や安楽学区での説明会等を地域と連携した取組を実施した。</p>	地域力推進室 文化市民局
	9	山科ならではの地域力・知恵を生かした空き家対策の推進	<p>区内に370あるすべての町内会により、空き家調査を実施。不動産業界団体や弁護士等の協力を得て、売却や賃貸等の活用を促進。</p>	<p>区内に370あるすべての町内会により、空き家調査を実施した。うち、外観調査等の2次調査を実施した。</p> <p>11月に開催された「ふれあい“やまなし”2018区民まつり」において、不動産業界の2団体と連携して「空き家をはじめとした不動産よろず相談コーナー」を設置した。</p>	地域力推進室
	10	ふれあい“やまなし”区民まつりの実施	<p>より多くの団体や、多様な年齢層の区民が参加するように内容を充実していく。</p>	<p>開催日時：11月23日（金・祝）10時～</p> <p>参加者：約21,500人 出展ブース数：65ブース ステージ出演団体数：10団体</p>	地域力推進室
	11	生活安全条例に基づく施策の推進	<p>学区の安心安全ネット継続応援事業を全13学区で実施する。</p>	<p>自治連合会等が実施する防犯に係る活動に必要な物品の経費について、12学区に計287千円助成した。</p>	地域力推進室 文化市民局
	12	獣害対策チームの運営	<p>各学区の獣害対策チームと連携を図り、生活被害に遭われた方への獣害防除物品の貸出し継続、追い払い物品の提供、獣害防除勉強会を開催する。</p>	<p>鹿用の標を新たに4件貸出し、継続分と合わせて述べ42件貸出した。</p>	地域力推進室
	13	個人情報の保護を基本とした円滑な行政サービスの提供	<p>個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努める。また、課内会議、研修等により更なるサービス向上を図る。</p>	<p>個人情報の保護に万全を期すとともに、的確で迅速な事務処理、親切丁寧な対応に努めた。また、市民サービス向上のため、定期的な課内会議を開催することにより職員間の情報共有を図るとともに、12月には市民応対向上のための職場研修を実施し、職員全員が参加した。</p>	市民窓口課
	14	区民サービスの向上	<p>“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図る。</p>	<p>各所属において、“きょうかん”ミーティングの実施、各種研修の充実等により、職員の資質向上を図った。</p>	全課共通
	15	笑顔と花いっぱいプロジェクトの実施	【再掲】	<p>プランター設置数：1,000個</p>	地域力推進室